

佐渡海盆東縁断層について

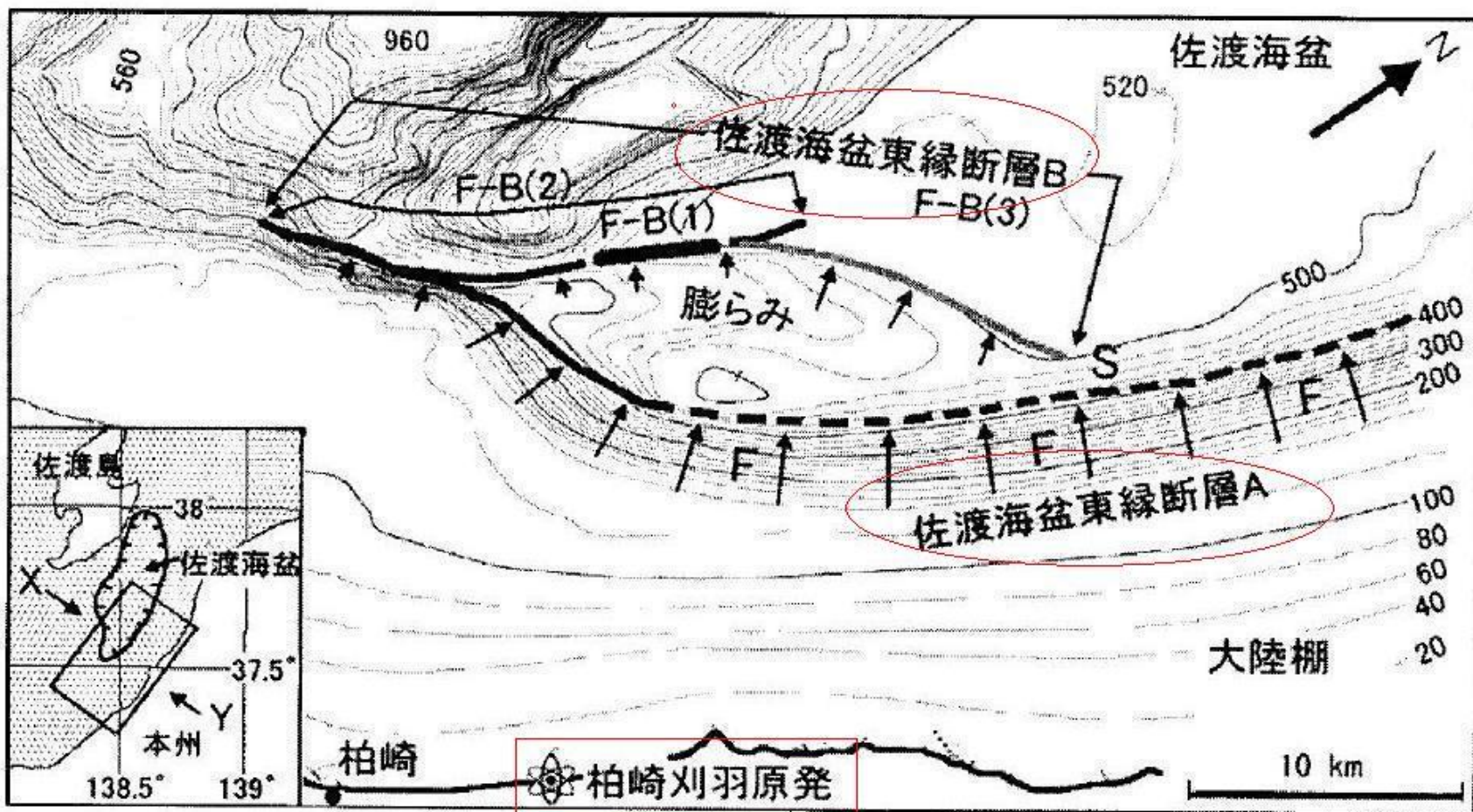
原告ら準備書面(11)

2013.9.12

準備書面(11)の構成

- 第1 はじめに
- 第2 佐渡海盆東縁断層Aの存在と長さ
- 第3 佐渡海盆東縁断層Bの存在と長さ
- 第4 佐渡海盆東縁断層の断層構造
- 第5 被告の主張に理由がないこと
- 第6 予想される地震規模

佐渡海盆東縁断層(A・B)の位置

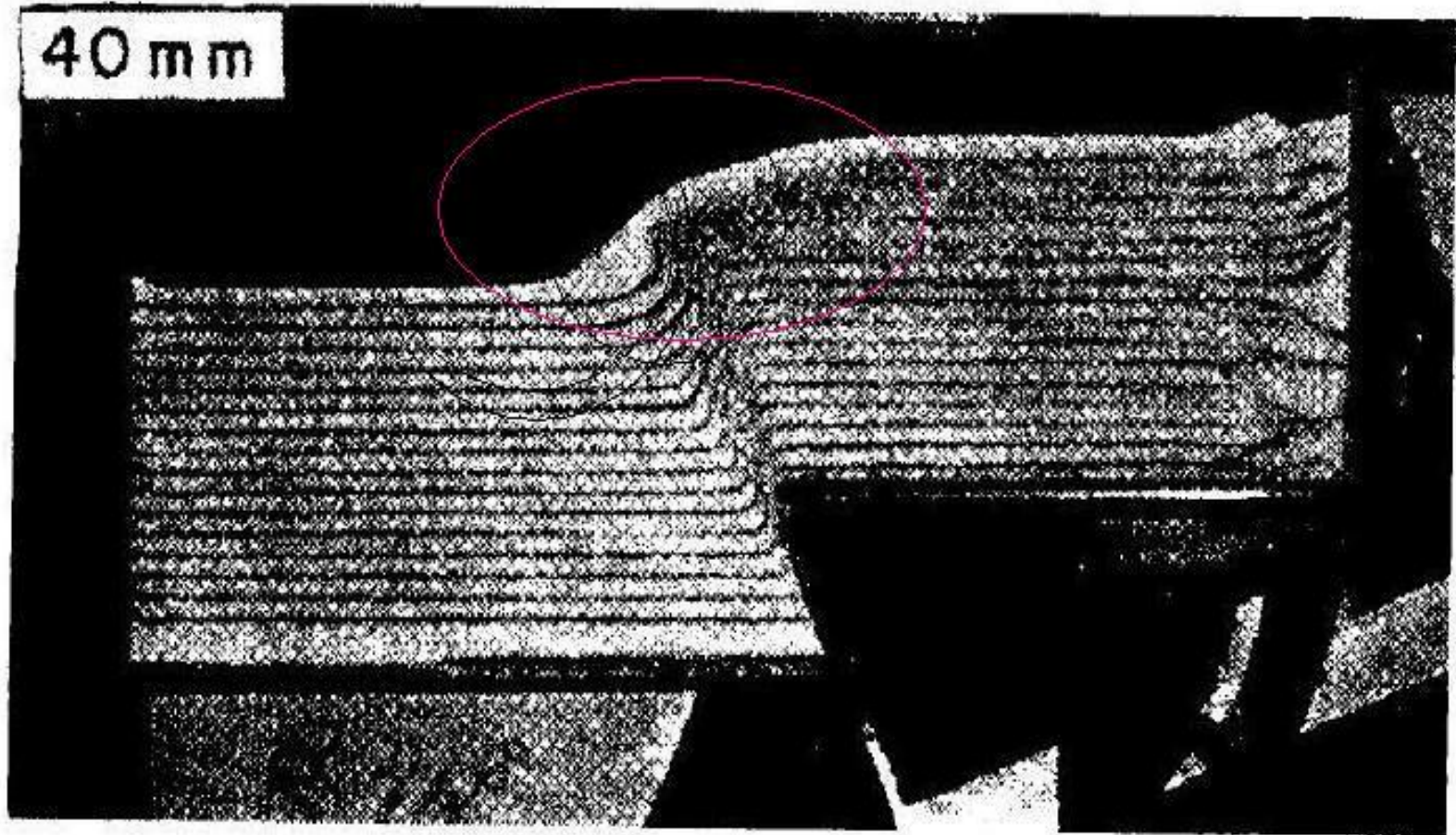


↗ ↖ 撓曲崖

佐渡海盆東縁断層Aの認定根拠

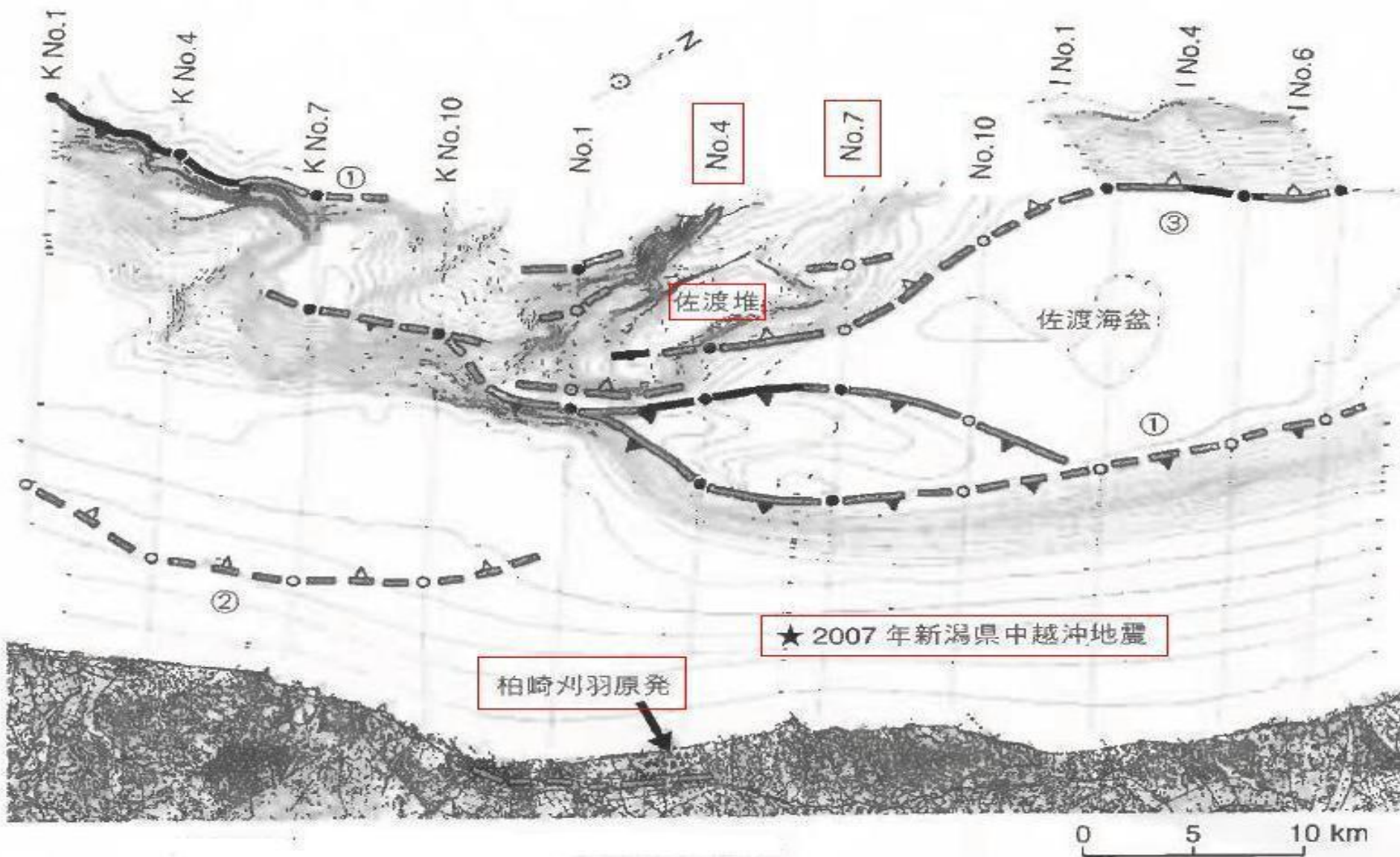
- 1 撓曲崖と地層の変形の存在
- 2 中越沖地震の震源断層の存在
- 3 帯状の地震活動域の存在
- 4 隆起海成段丘の存在

活断層と撓曲崖の関係

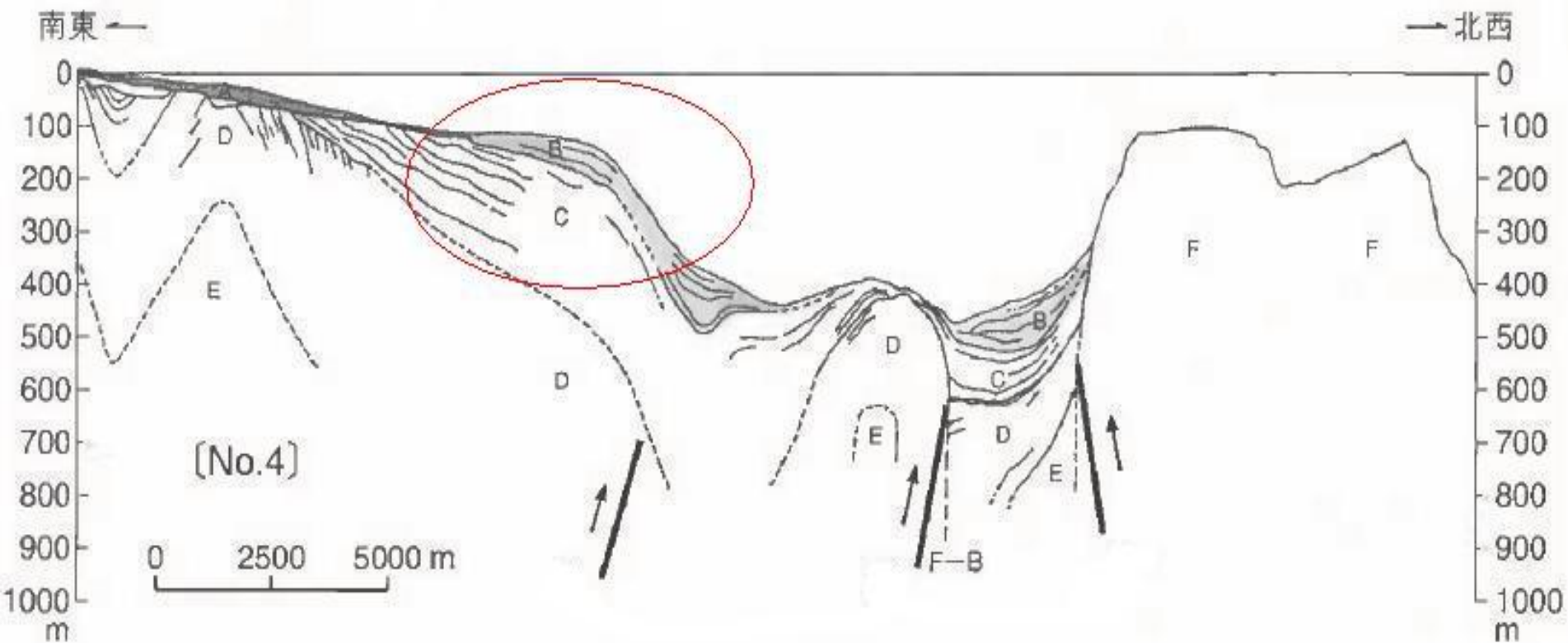


基盤の断層を変位させて被覆層中に変形を生じさせる実験 (Tsuneishi, 1978)

海上音波探査の測線の位置

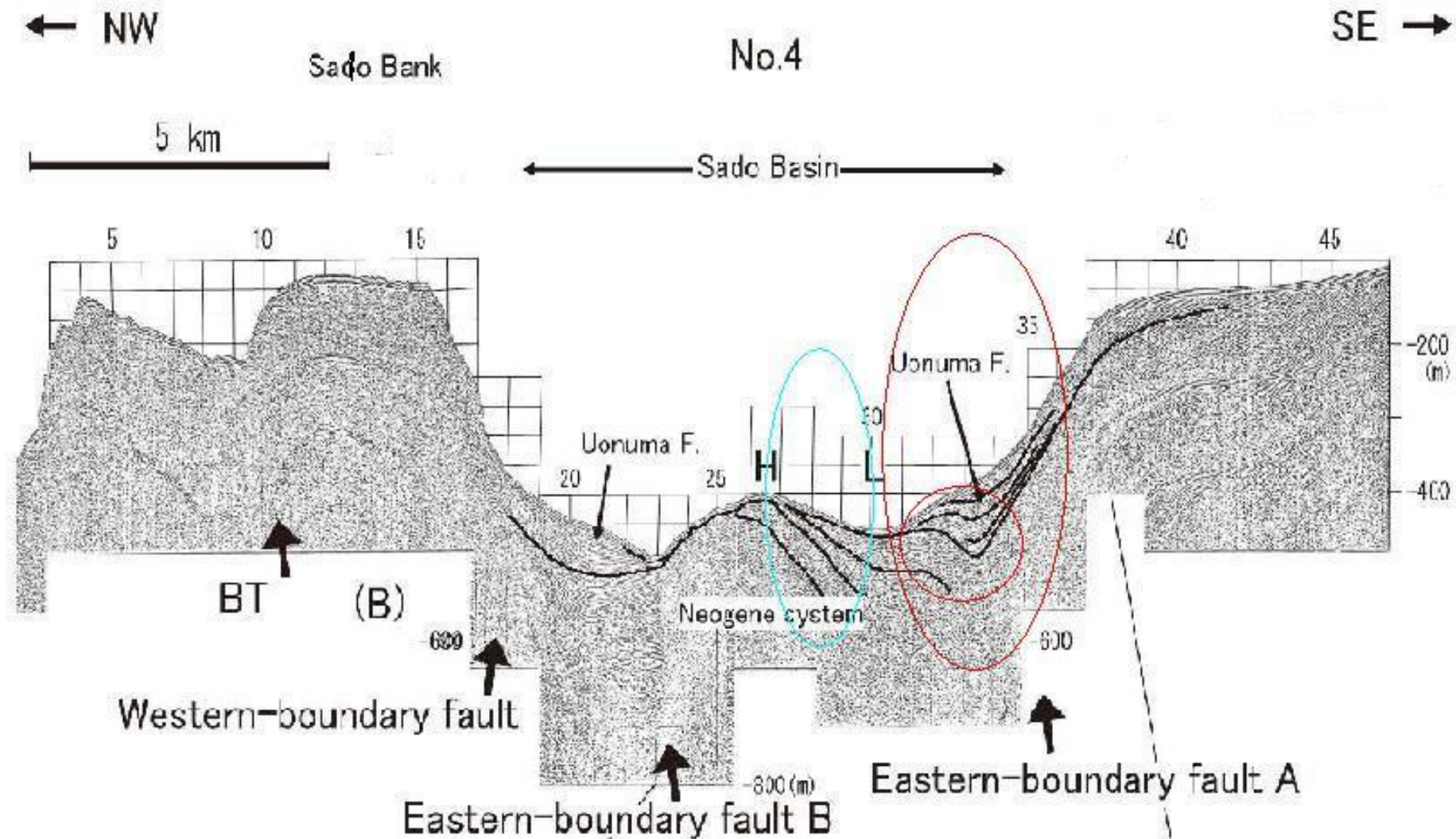


No.4測線での断面図 (地層の変形と撓曲崖)

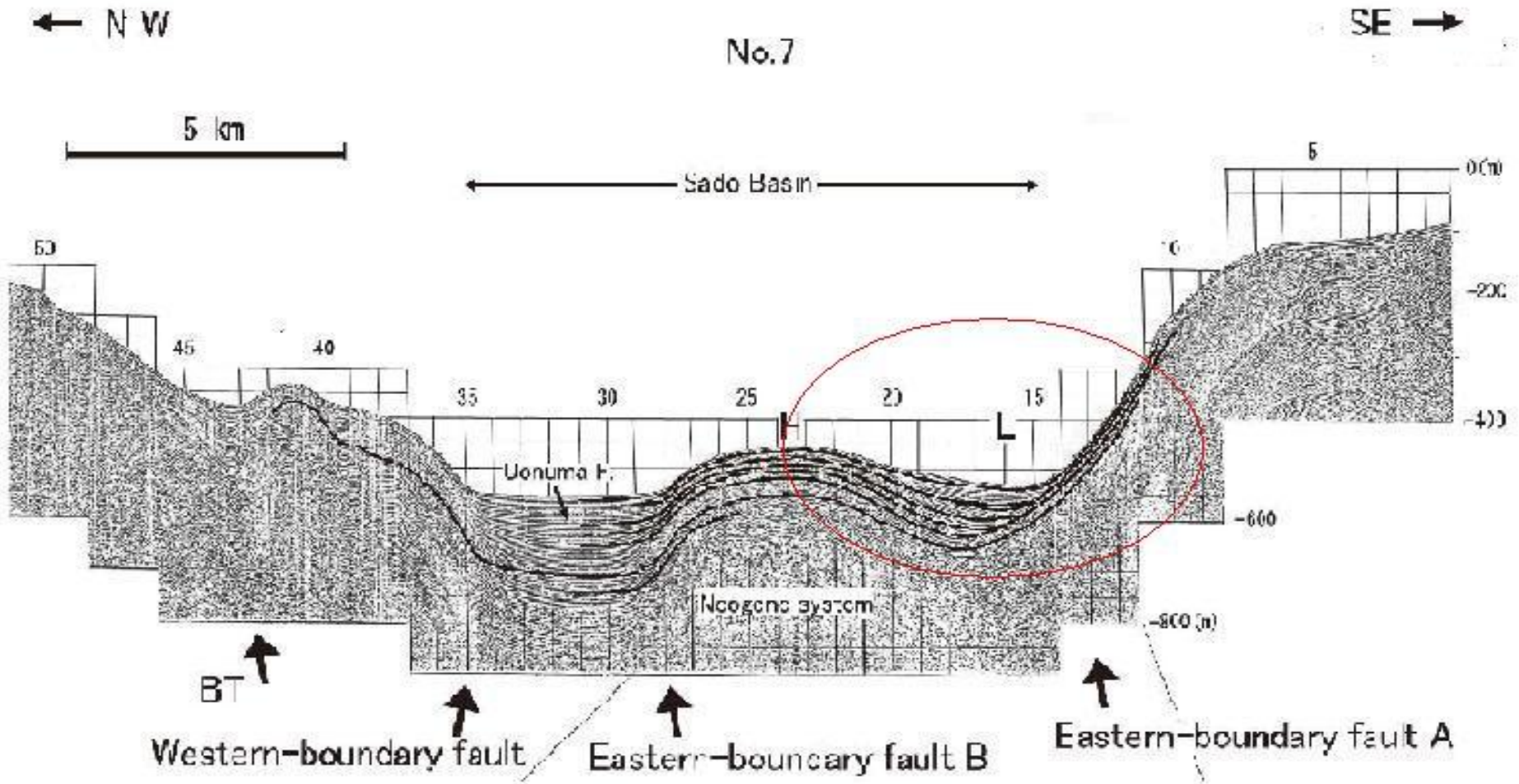


柏崎刈羽原発の設置許可申請書に掲載された中越沖地震震源海域の音波探査記録の例。測線 No. 4.

No.4測線での断面図 (地層の変位の累積・地層の変形)



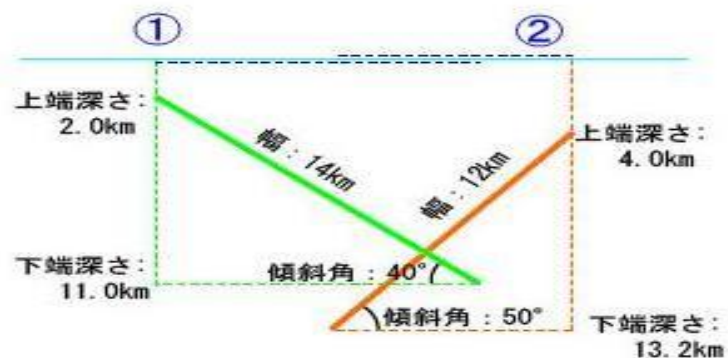
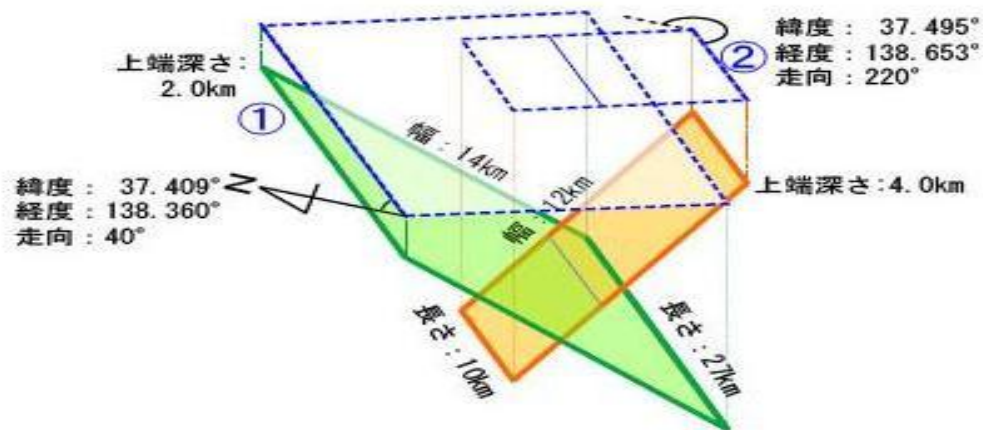
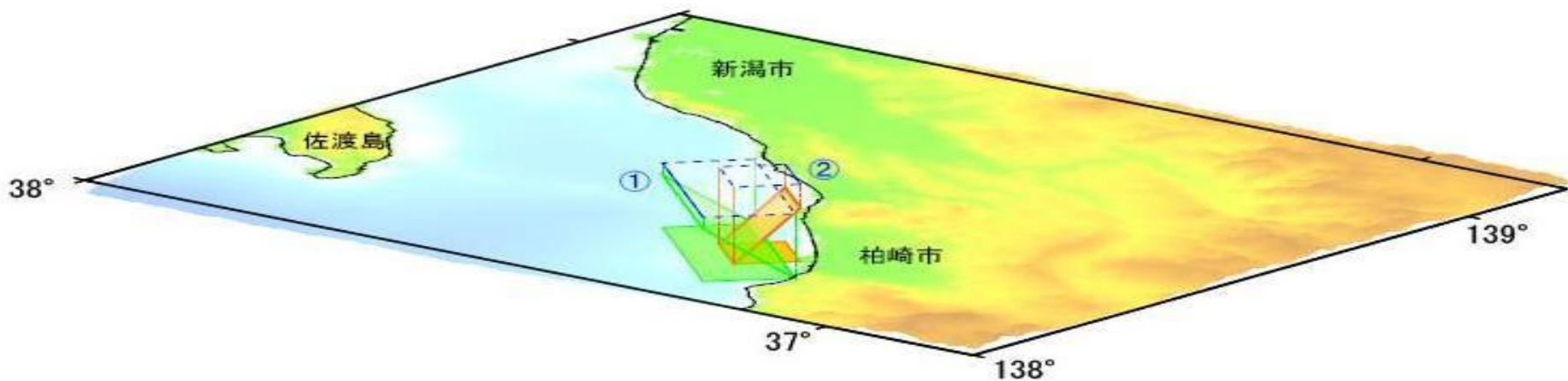
No.7測線での断面図 (地層の変形と東縁断層A)



中越沖地震の震源断層の存在

平成19年新潟県中越沖地震 推定された主要な滑り面の概念図

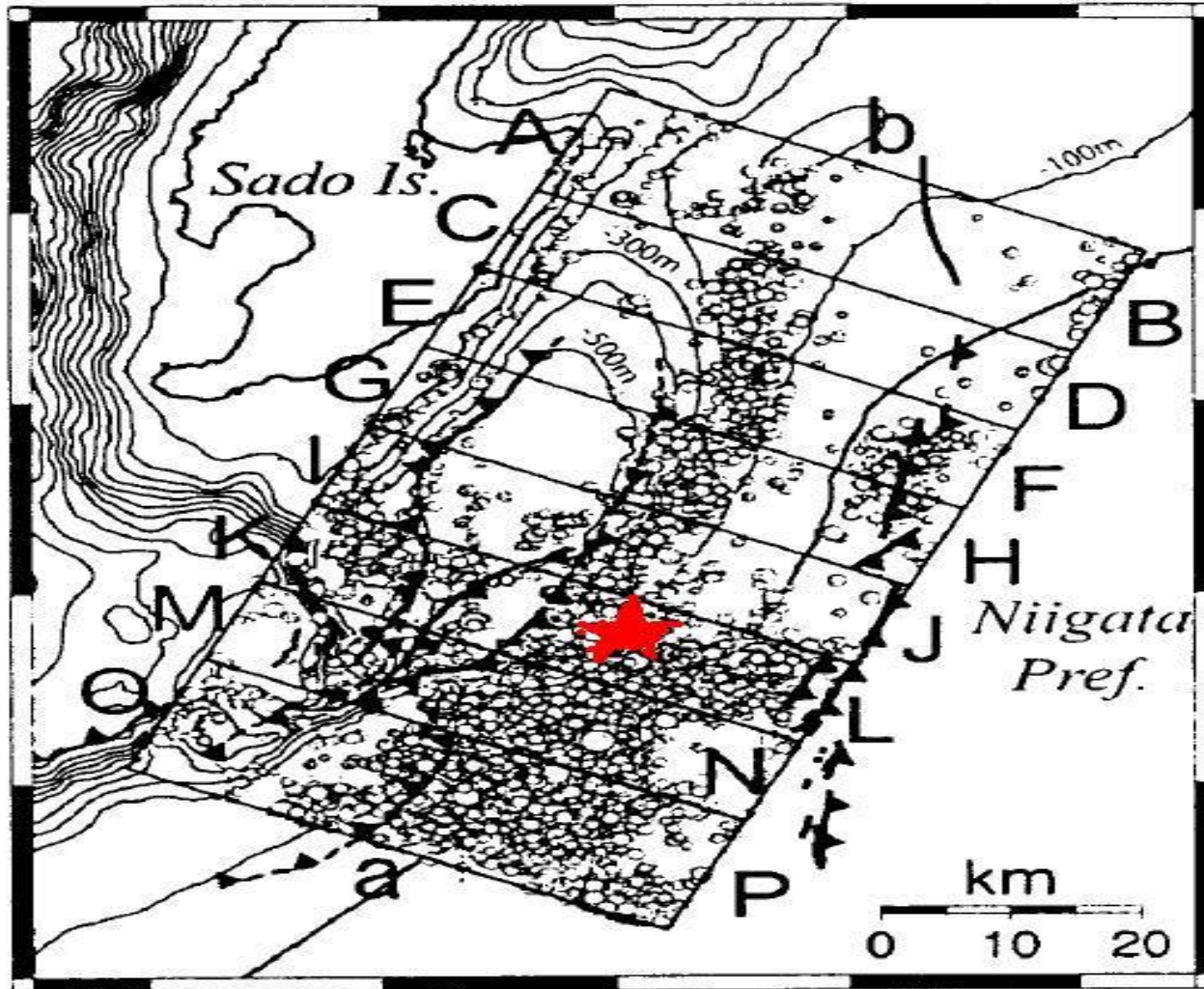
(主要な滑り面：おおむね滑り量1m以上の領域を長方形で近似した面)



帯状の地震活動域の存在

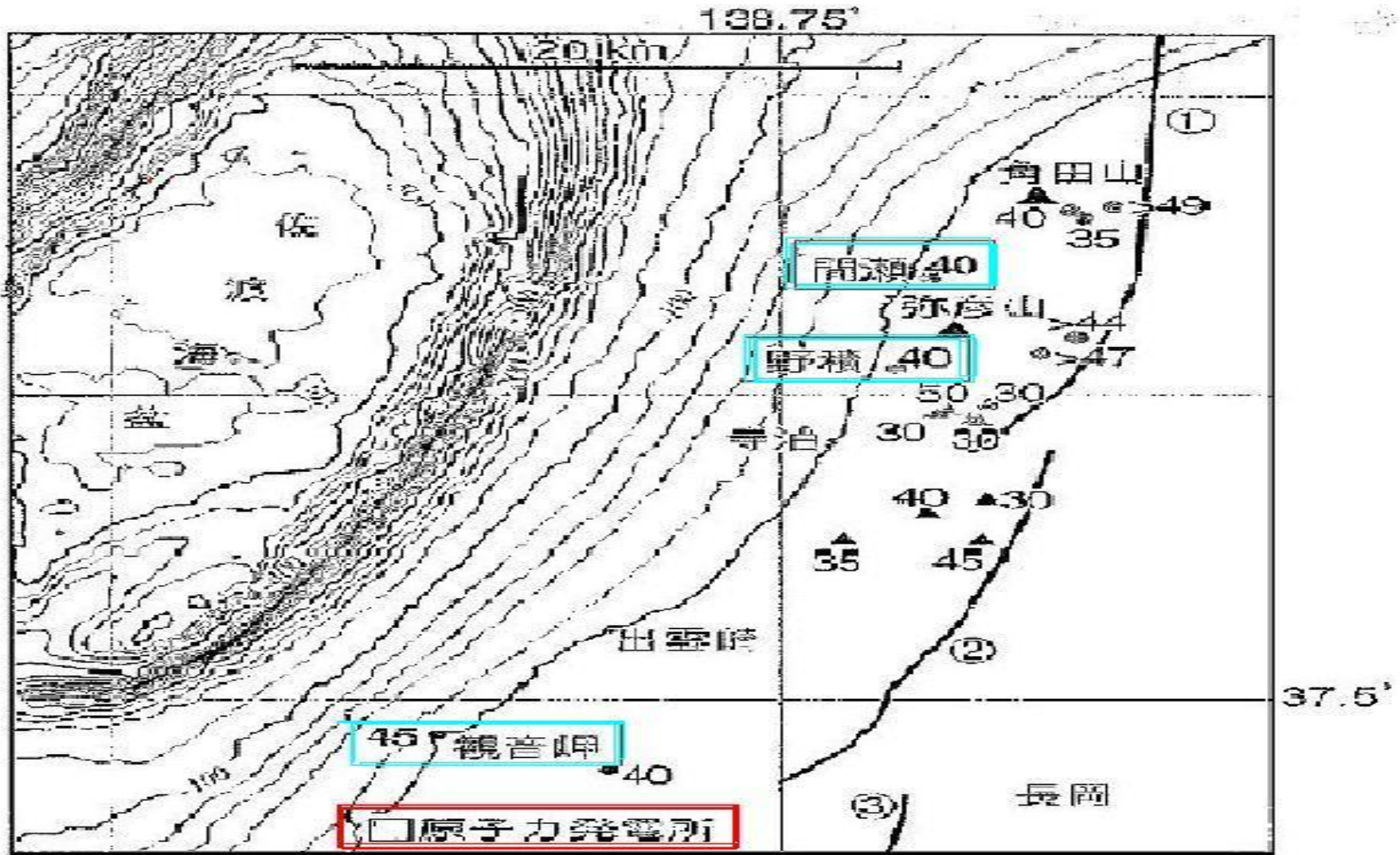
1997年10月01日 - 2009年08月31日

138.2°E 138.4° 138.6° 138.8° 139.0°



- M1.0
- M2.0
- M3.0
- M4.0
- M5.0

隆起海成段丘の存在(間瀬・野積)



MIS5e の旧汀線高度分布.

佐渡海盆東縁断層Aの長さ

- 帯状に延びる震源分布域の長さは約70kmに及んでいる。
- 海盆東縁の大陸斜面（撓曲崖）が滑らかに一様に続いている。

（途中に地形的断絶はない）



佐渡海盆東縁断層Aの長さは約70km